

《授業の基本》

■ 「ねらい」と「めあて」

○ 「ねらい」は目標に迫るために行う学習活動等の教師の意図

※「授業の目標の達成に向けて、何のために学ぶのか、どんな力を伸ばしたいのか」ということを教師は生徒たちと共有しておくことが大切です。

○ 「めあて」は「ねらい」を達成するための学習課題を生徒向けの言葉で示したもの

※この1時間の授業で「何をどこまでできればよいのか」を生徒に示します。

■ 「まとめ」と「振り返り」

○ 授業の終末に振り返る時間を設定します。

○ 毎時間週末の5分間は授業の課題や自分の学びに対する姿を振り返る時間を設定します。

○ 自主学習を行う際にも学習後に振り返る時間を設定します。

■ 「まとめ」と「振り返り」の違い

○ 「まとめ」とは

「めあて」や学習課題に対して、本時の授業で「何を学んだか」を明確にする活動になります。そのため、「めあて」と「まとめ」は基本的に正対することが大切です。よりよい「まとめ」にするために、板書された内容や生徒の言葉を生かして「まとめ」をするようにしましょう。授業において「まとめ」につながる生徒の考え方や気づきを引き出す発問をしたり、引き出した答えを生徒たちが共有できるようにしたりして、板書やタブレット端末を効果的に活用するようにしましょう。

○ 「振り返り」とは

生徒が主体となって行うものであり、この授業で学んだことに関して自由に書くことができます。基本的には、「わかったこと」「できるようになったこと」「気づいたこと」「疑問」「もっと考えてみたいこと」など、振り返りの視点は多岐にわたります。

生徒が自分で振り返りができるように、まずは、どのようなことを書けばよいのか、書く観点を生徒に理解させて、自分自身の学びの姿を振り返って書けるようにすることが大切です。

《振り返りの観点》

①友達の考えと関連づけて振り返りをする。

②授業前、授業後の自分の変化について振り返りをする。

③新しい発見や疑問点について振り返りをする。

④わかったことやできるようになったことを整理しながら振り返りをする。